

まちのわだい

あなたの周りで起きた出来事や楽しい話題、イベントなどの身近な情報をお待ちしています。

▷ 問い合わせ シティプロモーション係
(☎223-3571)

国民健康保険運営協議会より答申書が提出されました

2月5日 国民健康保険税への答申書を受領

国民健康保険運営協議会で、令和8年4月から賦課される子ども・子育て支援金の税率について審議が行われました。審議の結果、令和8年度は、既存の国民健康保険税の改正を行うことから、町民の負担軽減のため、「福岡県の示す標準保険税率から、減額した税率とする」という答申書が町長に提出されました。



ハンセン病問題解消の要請書が提出されました

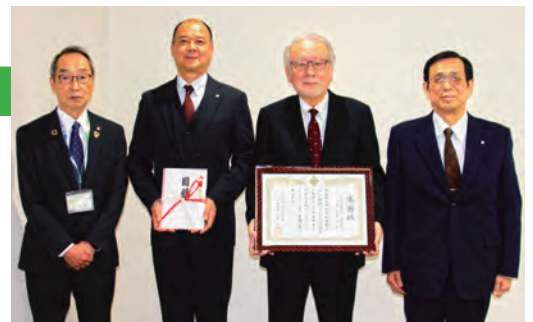
2月20日 ハンセン病問題解消のための要請書を受領

一般社団法人「いのちのライツ ハンセン病差別をなくす会ふくおか」の代表者が貝掛町長を訪問し、ハンセン病に関する差別や偏見の解消に向けた施策の充実を求める要請書を提出しました。懇談の中で、現在も残る人権上の問題やハンセン病患者、その家族が受けた偏見や差別の実態の話があり、教育や啓発の大切さが伝えられました。

地域貢献として図書館に図書が寄贈されました

2月24日 公益社団法人若松法人会から図書寄贈

公益社団法人若松法人会から芦屋町図書館に図書が寄贈されました。寄贈された図書は児童書や文字の大きな本など35冊で10万円相当です。目録を受け取った町長は「今回の寄贈により図書館の蔵書が一層充実します。地域の皆さんの読書活動の推進に役立てていきます」と感謝の意を伝えました。



観光大使コンバット満さんも闘茶体験

2月15日 芦屋室町茶会

芦屋釜の里で室町時代の茶会をアレンジした、抹茶の違いを飲み当てる闘茶会が行われました。始めにお菓子を食べた後に、抹茶を飲みます。次に本茶として1服目、2服目、3服目と運ばれ、最初に飲んだ抹茶と同じものが何服目であるかを当てるというものです。芦屋町ふるさと観光大使のコンバット満さんも参加し、「全然わかりませんでした。お菓子を食べるとお茶の味が違って感じるんですよ」と話していました。

いもじ オリジナルの古印を作って鋳物師体験

1月27日～2月25日 卒業記念の古印づくり体験

町内の小学6年生と中学3年生を対象に、^{すず}錫の古印づくり体験が行われました。講師は芦屋鋳物師の樋口陽介さん。こどもたちに、昔の鋳物師と同じような体験をして欲しいとの願いから始まった、芦屋ならではの取り組みです。鋳型に、名前の1文字を掘り、完成した鋳型に錫を流し込んだ後、紙やすりで印面を整えて完成です。こどもたちは、「文字を書いたり、掘ったりと細かい作業は大変だったが、達成感があってよかった」と話していました。



「おにはーそと」で元気になろう！

2月3日 子育て支援センターたんぽぽ 豆まき

子育て支援センターたんぽぽで豆まきが行われました。節分の話で盛り上がり、子鬼やアッシーが登場して一緒に童謡「鬼のパンツ」を踊ったりして、参加した親子は楽しんでいました。赤鬼が登場すると、泣き出す子もいましたが、勇敢に「おにはーそと」と豆に見立てた新聞紙ボールで赤鬼を追い出していました。最後にアッシーからお菓子のプレゼントがあり、楽しい豆まきとなりました。



訓練の成果を発揮しました！

2月15日 遠賀郡消防合同訓練

芦屋海浜公園第一駐車場で遠賀郡消防合同訓練が行われました。この訓練は、火災による被害軽減のため、消火活動を敏速かつ正確に行う一連の流れを確認することを目的としています。今回、芦屋町消防団の訓練内容が評価され、第1分団が優秀分団賞を受賞しました。訓練に参加した団員は「住民の身体、生命、財産を守れるよう、これからも訓練に励みたいです」と話していました。

